

「平和の語り部事業」ブロックアドバイザー紹介

Table with 5 columns: 所属, 氏名, 役職, 戦没者との続柄, 特記. Lists 10 advisors across 5 blocks.

相談は各都道府県支部を通して本部広報室へ



昇殿参拝に向かう「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」と水落敏栄本会会長(右端) = 4月23日、靖国神社で

みなで参

国会議員94人が参拝

参拝者減少に危機感

超党派の議員連盟「みんなで靖国神社に参拝する国会議員の会」は、靖国神社春季例大祭に合わせ国会議員本人94人が集団参拝した。近年、同連盟の参拝者数は著しく減少しており、国会議員の英霊顕彰に対する意識の希薄化が懸念され、戦没者遺族の精神的支柱である靖国神社への参拝の意義が改めて問われる由々しき事態となっている。

4月23日、「みんなで」党、日本維新の会、国民し、日本遺族会を代表して水落敏栄本会会長が一緒に参拝した。参拝した国会議員のうち3人が副大臣、8人が政務官だった。また、大森期間中に参拝した関係は、新藤義孝経済再生担当大臣、高市早苗経済安全保障大臣の二人に上った。

同会副会長の逢沢一郎衆議院議員は参拝後の記者会見で「大多数の日本国民が戦後生まれの新しい時代になってきた。戦争の悲惨さ、平和の尊さをしっかりと胸に刻み、後世に語り継いでいく大

切さを念頭に参拝した」と述べた。参拝者が100人を切る危機的状況が依然として続いており、このままだと靖国神社の存在が形骸化され、新たな国立の戦没者追悼施設の建設構想の再燃が危惧される。



組織継承のため、特厚継続と「平和の語り部」事業の重要性を訴える水落会長 = 4月11日、安来市で

組織継承「語り部育成」

島根県各地で研修会

島根県内3カ所で開催された組織継承の研修会。承襲の他、本部担当者から派遣された。4月11から12日の2日間、3カ所で開催された。戦後80年に向けた組織継承3カ年計画(以後、継

承襲)の研修のため、水落会長の他、本部担当者から派遣された。各地では、水落会長から遺族会の今後の展望が語られた。その後、担当者から、継承策実行のた

めにも広報用に準備したバナーを各支部に配布した。仲佐芳己安来市会長は、旧青年部時代より遺族会活動の先頭に立ってこれられ、同市は県内に先

駆ける青年部(戦没者の子)供たちに伝えたいとの

見が出された。遺族会活動が活発な同市会員からは、20年7月29日、B29の山陰線の襲撃の様子、原爆員傷者が同市に送られて来た様子

を語り継ぐ。4月11日(安来市)夢ランドらさきにおいて開催。青年部を含む50人が参加。参加者からは、

「国は戦没者を忘れない」とする趣旨である。次世代への支給を検討すべきではないか、戦没者追悼式とは遺族の

ためにも、国は先の大戦の犠牲を忘れさせないための機会ではないのかとの意見が出された。

同研修会においては、特に慰霊碑の維持管理について、要望があつた。同様の要望は、2月の市会議員から、20年7月29日、B29の山陰線の襲撃の様子、原爆員傷者が同市に送られて来た様子

口野、石井拓、石川昭政、石橋太郎、石原正敬、伊東良孝、井上信治、井林辰憲、岩田和親、うえの賢一郎、衛藤征士郎、江藤拓、大串正樹、大西英男、尾崎正樹、梶山弘志、金子泰之、川崎ひら

【無所属】高木毅、仁木博文、福島伊享

田政宗、山口俊一、山下貴司、山田美樹、山本左近、若林健太、渡辺博道

【日本維新の会】阿部弘樹、奥下剛光、堀井健賢、三木圭、岬麻紀、和田三有朗

【NHKから国民を守る党】浜田聡

【参政党】神谷宗幣

【参政党】神谷宗幣

好業 友事 霊善 慰親 遺児の参加者募集 令和7年度で事業終了へ

日本遺族会が厚生労働省から補助を受け実施する「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和6年度の参加者を募集している。本事業が終了する令和7年度には、洋上慰霊の実施を予定していることから、フィリピン以外の旧戦域については本年度で最後の実施となるため、一人でも多くの遺児に青年部世代とともに参加願いたい。

日本遺族会が厚生労働省から補助を受け実施する「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では、令和6年度の参加者を募集している。本事業が終了する令和7年度には、洋上慰霊の実施を予定していることから、フィリピン以外の旧戦域については本年度で最後の実施となるため、一人でも多くの遺児に青年部世代とともに参加願いたい。

本事業は来年度の令和7年度に終了するが、戦80年及び事業実施35周年を記念し、国に要請している洋上慰霊の実施が実現した場合は、令和7年度は洋上慰霊（フィリピン）地域のみを実施する予定にしており、他の旧主要戦域については本年度で最後の実施となる。

※付添者補助については、多くの遺児に青年部と共に参加願いたい。募集要項は次の通り。

参加者の資格審査には、申込書の記載内容を確認するため、事前に申込書を取り寄せ、記入項目に不明な点(戦没者の部隊等)は各遺族会に相談し、記入した上で提出願いたい。

実施地域や時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行する。

本会は、「令和6年度慰霊友好親善事業」で実施を予定している地域で、訪問する相手国内の政治情勢やビザ取得申請等の影響により実施が困難な地域について、代替え地域を検討している。

日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」で、令和7年度の洋上慰霊の実施に向けて準備している。

洋上慰霊は、終戦80年及び本事業実施35周年を記念しての事業であるが、遺骨の収集もままならない状況にある遺族にとって、海に眠る戦没者の慰霊は長年の願いで、必ず実現できるような陳情運動を展開する。



慰霊祭で父の冥福を祈る団員＝令和5年10月29日、パプアニューギニア・ウエワクで

本事業は来年度の令和7年度に終了するが、戦80年及び事業実施35周年を記念し、国に要請している洋上慰霊の実施が実現した場合は、令和7年度は洋上慰霊（フィリピン）地域のみを実施する予定にしており、他の旧主要戦域については本年度で最後の実施となる。

多くの遺児に青年部と共に参加願いたい。募集要項は次の通り。

参加者の資格審査には、申込書の記載内容を確認するため、事前に申込書を取り寄せ、記入項目に不明な点(戦没者の部隊等)は各遺族会に相談し、記入した上で提出願いたい。

実施地域や時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期、中止となる場合がある。参加者の高齢化を考慮し、看護師が同行する。

本会は、「令和6年度慰霊友好親善事業」で実施を予定している地域で、訪問する相手国内の政治情勢やビザ取得申請等の影響により実施が困難な地域について、代替え地域を検討している。

日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」で、令和7年度の洋上慰霊の実施に向けて準備している。

洋上慰霊は、終戦80年及び本事業実施35周年を記念しての事業であるが、遺骨の収集もままならない状況にある遺族にとって、海に眠る戦没者の慰霊は長年の願いで、必ず実現できるような陳情運動を展開する。

本会は洋上慰霊の実施を、令和7年度政府予算に対して要求すべき戦没者遺族の処遇改善項目の最重要課題の一つとしており、7月の全国戦没者遺族代表者会議、12月の全国戦没者遺族大会等で、必ず実現できるように陳情運動を展開する。

遺児巡拝

戦没者遺児の皆さんへ

幼少時を過ごした故郷や、戦時中の参加地の案内

令和6年度実施地域(旧戦域)一覧

1 旧ソ連	10月1日～10月15日
2 旧満州	10月16日～10月30日
3 ボルネオ・マレー半島	10月31日～11月14日
4 トラック諸島	11月15日～11月29日
5 パラオ諸島	12月1日～12月15日
6 西部ニューギニア	12月16日～12月30日
7 マリアナ諸島	1月1日～1月15日
8 東部ニューギニア	1月16日～1月30日
9 ビスマルク諸島	2月1日～2月15日
10 インド	2月16日～2月30日
11 フィリピン(1次)	3月1日～3月15日
12 ソロモン諸島	3月16日～3月30日
13 台湾・パシフィック	4月1日～4月15日
14 西部ニューギニア(特定地域)	4月16日～4月30日
15 東部ニューギニア(特定地域)	5月1日～5月15日
16 ミャンマー(特定地域)	5月16日～5月30日
17 ギルバート諸島	6月1日～6月15日
18 マーシャル諸島	6月16日～6月30日
19 フィリピン(2次)	7月1日～7月15日
20 中国	7月16日～7月30日

詳細は本誌裏面に掲載されています。

慰霊友好親善事業PR用ポスター (イメージ)

令和6年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 旧ソ連	令和6年8月2日(金)～8月10日(土) A班=ハバロフスク、ウラジオストク、ウスリースク B班=イルクーツク、チタ	8泊9日 40人	令和6年6月3日
2 旧満州	令和6年8月19日(月)～8月28日(水) A班=ハイルン、チチハル、ハルビン、北安、瀋陽、延吉、牡丹江、通遼(北朝鮮連邦)、吉林、長春、遼陽	9泊10日 40人	令和6年6月19日
3 ボルネオ・マレー半島	令和6年8月27日(火)～9月5日(木) A班=コタナバル、ケニンゴウ、フルネイ、ラバン、マレー半島イポー B班=バリクパパン、タラカン	9泊10日 40人	令和6年6月28日
4 トラック諸島	令和6年9月7日(土)～9月13日(金) A班=春島、夏島、秋島、水曜島及び環礁内洋上慰霊	6泊7日 20人	令和6年7月8日
5 パラオ諸島	令和6年9月7日(土)～9月13日(金) A班=パラオ本島、ベリリュー島及び環礁内洋上慰霊	6泊7日 20人	令和6年7月8日
6 西部ニューギニア	令和6年9月18日(水)～9月27日(金) A班=ジャヤプラ(旧ホーランジャヤ)、ゲムム、ピアク島 B班=バルマヘラ、マフクワリ、ピアク島	9泊10日 40人	令和6年7月18日
7 マリアナ諸島	令和6年10月4日(金)～10月10日(木) A班=グアム島、サイパン島 B班=サイパン島、タニアン島	7泊8日 42人	令和6年8月19日
8 東部ニューギニア	令和6年10月18日(金)～10月25日(金) A班=マダン、ウエワク、ボイクン、プーツ B班=マクワリ、ソロモン、ピアク島	7泊8日 40人	令和6年8月19日
9 ビスマルク諸島	令和6年10月18日(金)～10月25日(金) A班=マヌス島、ニューブリテン島(ラバウル) B班=ブカ島、ブレンビル島(ヌヌマ)、ニューブリテン島(ラバウル)	7泊8日 40人	令和6年8月19日
10 インド	令和6年10月30日(水)～11月5日(火) A班=インドネシア B班=インドネシア	6泊7日 30人	令和6年7月1日
11 フィリピン(1次)	令和6年11月8日(金)～11月15日(金) A班=マニラ及び東方山岳地方(リバ、ルセナ) B班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック) C班=ミンダナオ島(ダバオ) D班=パナオ島(ロイロ)、ミンダナオ島(ダバオ) E班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	7泊8日 120人	令和6年9月9日
12 ソロモン諸島	令和6年11月24日(日)～12月1日(日) A班=ガダルカナル島、ツラギ島 B班=ニュージオーナ島(ウツク)	7泊8日 40人	令和6年9月24日
13 台湾・パシフィック	令和7年1月17日(金)～1月23日(木) A班=台北、台中、高雄、臺中 B班=台北、花蓮、台東、臺中	6泊7日 40人	令和6年11月15日
14 西部ニューギニア(特定地域)	令和7年2月3日(月)～2月12日(水) A班=ジャヤプラ(旧ホーランジャヤ)、ゲムム、ピアク島 B班=マクワリ、ソロモン、ピアク島	9泊10日 36人	令和6年12月3日
15 東部ニューギニア(特定地域)	令和7年2月14日(金)～2月21日(金) A班=マダン、ウエワク、ボイクン、プーツ B班=マクワリ、ソロモン、ピアク島	7泊8日 36人	令和6年12月13日
16 ミャンマー(特定地域)	令和7年2月20日(木)～2月28日(金) A班=マンダレー、バグダ、マンダレー、マングレー B班=マンダレー、バグダ、マンダレー、マングレー	8泊9日 36人	令和6年12月20日
17 ギルバート諸島	令和7年2月28日(金)～3月8日(土) A班=タラウ	8泊9日 20人	令和6年12月25日
18 マーシャル諸島	令和7年3月1日(土)～3月9日(日) A班=タエゼリン、マジロ	8泊9日 20人	令和6年11月1日
19 フィリピン(2次)	令和7年3月11日(火)～3月18日(火) A班=マニラ及び東方山岳地方(リバ、ルセナ) B班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック) C班=ミンダナオ島(ダバオ) D班=パナオ島(ロイロ)、ミンダナオ島(ダバオ) E班=セブ島、レイテ島(タクロバン、プラウエン、リモン峠、ピリアバ、カンギボット山、オルモック)	7泊8日 120人	令和7年1月10日
20 中国	令和7年3月21日(金)～3月29日(土) A班=北京、南京、鄭州、武漢、長沙 B班=北平、南京、鄭州、武漢、長沙 C班=北平、南京、鄭州、武漢、長沙	8泊9日 80人	令和7年1月20日

日本遺族会への 賛助金のお礼

本会の活動に賛同し、賛助金を寄せていただいた左記の方々に対し、心よりお礼申し上げます。

なお、賛同者の都道府県名により居住地为特定方法により居住地为特定できない場合があります。

賛助者名(敬称略)・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)

安田久美、奥田正勝、関谷忠、吉田章市、西口隆久、新島敏明、轟木保子、富岡義基、寺崎聖子

小田桐温子、重松美美子、井出正孝、上城政廣、樋口利一、丸山高平、三宅昇、保本登彦、星野有間昭人、堀清明、川場貞子、楠本武吉、石川昌司、サトウタケユキ(以上)4月1日から4月末日まで

皆様からいただいた賛助金は、本会が実施している英霊顕彰、戦没者遺族の処遇改善、戦没者遺骨収集事業等のさまざまな遺族会活動に利用させていただきます。

計画概要参照

参加費 10万円。
東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所からの交通機関は自身の手配となる。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続き手数料等費用は、個人負担となる。

参加資格

戦没者の遺児(周辺公海上を含む実施地域で父等を含む実地地域で父等を亡くした方に限る)。

申込方法

在住する各都道府県遺族会事務局へ。

実施地域

実施計画概要参照

代替え地域を検討

本会は、「令和6年度慰霊友好親善事業」で実施を予定している地域で、訪問する相手国内の政治情勢やビザ取得申請等の影響により実施が困難な地域について、代替え地域を検討している。

令和7年度洋上慰霊 船舶借上げ予算要望

本会は洋上慰霊の実施を、令和7年度政府予算に対して要求すべき戦没者遺族の処遇改善項目の最重要課題の一つとしており、7月の全国戦没者遺族代表者会議、12月の全国戦没者遺族大会等で、必ず実現できるように陳情運動を展開する。

昭和館

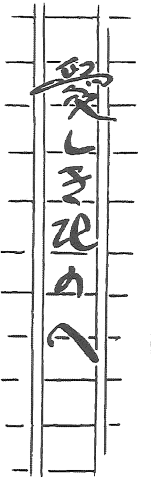
『失われゆく昭和の仕事』

開館25周年記念写真展

昭和館では、開館25周年記念企画として「失われゆく昭和の仕事―戦中、戦後の街頭風景―」と題する写真展を開催している。今では見かけることの少なくなった昭和の仕事を紹介するもので、昭和初期から30年代前半にかけての写真46点が展示され、当時の人は懐かしく、知らない人には新鮮に映る貴重な内容となっている。

昭和館の2階ひろばでは、令和6年6月30日まで、写真展「失われゆく昭和の仕事―戦中・戦後の街頭風景―」を開催している。昭和の時代は生活の価値観が大きく変化し、技術革新や流行の推移も著しく、多種多様な仕事が行われていた。戦後の混乱期、人力でかき氷売りや浅草寺境内の鳩の餌売りの写真が紹介される。また、「白襟嬢」と親しまれた路線バスの

昭和初期の写真では、戦後の混乱期、人力でかき氷売りや浅草寺境内の鳩の餌売りの写真が紹介される。また、「白襟嬢」と親しまれた路線バスの乗客を運ぶ自転車タクシーの写真を展示している。戦後の混乱期、人力でかき氷売りや浅草寺境内の鳩の餌売りの写真が紹介される。また、「白襟嬢」と親しまれた路線バスの乗客を運ぶ自転車タクシーの写真を展示している。



父上様 母上様

陸軍少尉 藤沼 喜一
昭和二十年一月七日
フィリピン・リンガエン湾にて戦死
栃木県芳賀郡祖母井町祖母井出身二十一歳

父上、母上様
喜一の今日の知らせを御喜び下さい。
大命に依り特別攻撃隊員に参加出来ることとなりました。
喜一の心には、何の未練もありません。只に此の名譽を喜んでおります。
五尺の体を以て三十年來の國土を防護するので。武人の本懐、否、男子の本懐です。
輸一丁歳にして比島沖に散る。米艦船目かけて八〇〇疋の爆弾を抱き突込む様を御想像下さい。勇ましいでは有りませんか。
東航入校以來三ヶ年の努力も今日有るを思へばこそです。
父上、母上様も今後共、御体を大切に御暮らし下さることを靖國の社より御祈り申し上げます。
昭和十九年十二月十六日
藤沼喜一

父上様
母上様
十一月一日 伍長に任官致しました。
※東航は東京陸軍航空学校の略称
〔令和六年五月靖國神社頭領不愛しきものへ〕

Advertisement for the exhibition 'The Work of the Lost Shōwa' (失われゆく昭和の仕事). It includes the title, dates (2024年3/12-6/30), location (昭和三階ひろば), and contact information for the Shōwa Museum.

九段短歌

落着 村田 信昌

去りがたうセスナは一周す慰畫に來し父の戦地のペリ
リユースの空
青森県 田中 恭子

靖國の桜満開父帰る母なき今は誰と語れば
福島県 柴田 征子

父の手に触れし印鑑手にすれば凍れるシベリア我に頭
ち来る
栃木県 西村三千代

終戦の知らせを待たず逝きし父沖繩の海に夢を沈めて
愛知県 近藤 淳子

年々に清掃メンバー減りゆけど慰畫碑に誓う遺族の絆
愛知県 高橋 園子

大分県で開催へ

昭和館巡回特別企画展

昭和館では、関係機関の協力を得て、平成13年から毎年二カ所ずつ巡回特別企画展を開催して、昨年度は、奈良県と宮城県で開催し、好評を博した。本年度、大分県では、6月19日(水)より30日(日)にかけて、大分市にある大分県立美術館を会場とし、東京にある国立施設としてのしゅうけい館平和祈念資料館と同時開催で巡回特別企画展を行う。

寄せ書き日の丸返還

福島県、鹿児島県で

いわき市ではOBONサエティから本会に調査依頼があった、米国・イリノイ州在住のマシュー・P・ゴンリングさんが元アメリカ兵の父親から譲り受け保管していた日章旗が、戦後復員した、既に亡くなっている田中宏さんのものであることが分かった。
3月21日、いわき市遺族連合会事務所で返還式が開催され、清水良祐市遺族連合会会長から、宏さんの長男の孝明さんに日章旗が手渡された。
二本松市では、本会に直接、ニューメキシコ州在住のマイケル・ロブソンさんが元米兵の祖父が戦地から持ち帰った日章旗の調査依頼があり、持ち主が昭和20年8月10日にフィリピン・ルソン島で戦死した斎藤孝道さんであることが分かり、二本松市遺族連合会の調査で遺族の所在が判明し、

身もの漫画家麻生豊の作品「銀座復興絵巻」のほか、大分県にゆかりのポスターを紹介する特設コーナーも設けられる。会場では戦中・戦後の証言映像や、ニュース映画も上映される。本展示に関する問い合わせは、昭和館学芸部電話03-3222-2577まで。



清水良祐(左端)から日章旗を受け取った田中孝明さん(中央)ら。3月21日、いわき市で

地方だより
▼宮城県 4月18日
宮城県市町村遺族会研修会大崎市支部(25人)
▼徳島県 4月29日
令和6年度徳島県遺族会役員研修会(230人)